Creative Enzymes®

ネイティブ グリシン マックス (大豆) リポキシダーゼ

Cat. No. NATE-0407

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	cis,cis-1,4-ペンタジエン構造を含む脂質のヒドロペルオキシ化を触媒します。
用途	大豆酵素はアラキドン酸を基質として使用し、リノール酸を基質として使用した場合の活性は約15%である。アラキドン酸の酸化生成物は12-または15-ヒドロペルオキシアラキドン酸（12-HPETEまたは15-HPETE）である。
別名	リポキシゲナーゼ; EC 1.13.11.12; 9029-60-1; 13-リポキシダーゼ; カロテノイドオキシダーゼ; 13-リポペルオキシダーゼ; 脂肪オキシダーゼ; 13-リポキシダーゼ; リノレイン酸:O2 13-オキシドレダクターゼ; リノレイン酸 13S-リポキシゲナーゼ

製品情報

由来	グリシンマックス（大豆）
形態	タイプI、硫酸アンモニウム懸濁液、2.3 M (NH4)2SO4 溶液中の懸濁液、pH 約6.0；タイプII、凍結乾燥粉末、安定剤およびNaClを含む。
EC番号	EC 1.13.11.12
CAS登□番号	9029-60-1
分子量	mol wt 108 kDa (two 54 kDa subunits)
活性	タイプI、500,000-1,000,000単位/mgタンパク質；タイプII、> 50,000単位/mg固体。
単位定義	1単位は、基質がリノール酸である場合、25°CでpH 9.0のときに3.0 mlの体積（1 cmの光路）でA234を0.001□加させます。1 A234単位は、0.12 µmoleのリノール酸の酸化に相当します。

保管・発送情報

保存方法	2-8°C